

京島まちづくり便り

発行月 令和3年3月

第24号

Information

**京島地区まちづくり協議会は
今年設立40周年を迎えます。
詳細は裏面をご覧ください。**



報告

協和井戸端広場が4月1日に開設します。

平成28(2016)年、京島まちづくり協議会委員の「震災時の火災の猛威から、町、建物、命を守るために自前の水源確保の必要性と、震災前後にも多目的に活用できる水源にすることで町の魅力が一層高まる。」との提案から実現した、防災井戸を完備した「協和井戸端広場(京島二丁目26番)」の整備工事が3月に完了しました。開設は4月1日(木)を予定しています。

協和井戸端広場に設置した防災井戸は、地域による維持管理が重要になることから、協議会を構成する地元7町会による「京島井戸守」が維持管理を行い、今後も防災力の向上を目指していきます。皆様のご協力をお願いいたします。



工事が完了した協和井戸端広場(令和3年3月15日撮影)

京島地区まちづくり協議会は今年設立40周年を迎えます。

昭和56年5月19日「まちづくり協議会設立準備会」が設立され、協議会の会則案や活動計画案を検討し、昭和56年6月23日に開催された第1回協議会で準備会案が正式に決定され、協議会がスタートしました。ここでは、協議会が設立され本格的に活動が開始して以降の約10年間について協議会活動の様子を写真で振り返ります。

昭和56年9月1日にオープンした京島まちづくりセンターの様子



第四吾婦小学校裏にオープンし京島地区まちづくりの拠点と位置付けられた。センター内には墨田まちづくり公社の事務所が開設された。

協議会の先進事例地区見学会の様子(昭和58、60年)



(出典)京島まちづくり協議会のあゆみ

(左上) 昭和58年3月30日
：足立区コミュニティ道路見学
(右下) 昭和60年3月6日
：新宿区神楽坂商店街

昭和61年9月17日発行の「わがまちワークマップ」



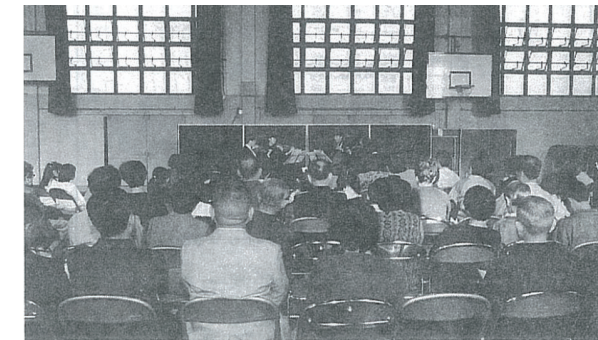
京島二丁目協和町会内の京島ネットワーク61に加入する工業者が紹介された。

京島まつりの様子(平成元年11月12日)



現在の「京島文化まつり」の前身で、京島三丁目コミュニティ住宅前で初めて開催された。

京島まつりコミュニティコンサートの様子(平成元年11月11日)



第四吾婦小学校体育館で、新日本フィルのメンバーによる室内楽演奏が行われた。

当時の協議会や各部会の様子

第1回京島地区まちづくり協議会の様子(昭和56年6月23日)



会場は押上通りに面してあった「三光信用金庫ホール」。起立し挨拶しているのは初代会長の仲俣重蔵氏。

商業部会の様子



商業部会では、京島地区の商業活性化の方策や商店街との連携による様々なイベントに取り組み、平成24年まで活動した。

工業部会の様子



(出典)京島まちづくり協議会のあゆみ

工業部会では、京島地区の工業活性化方策の検討や京島地区工業のPRやネットワークづくり、工業者の育成などに取り組み、平成20年まで活動した。

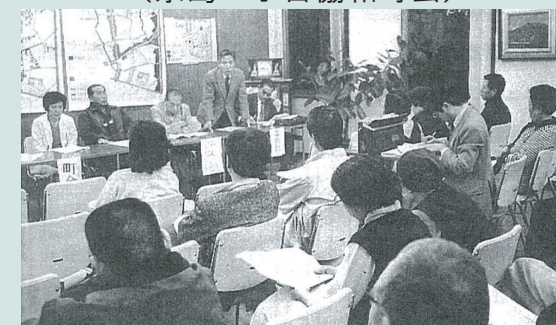
第4回京島地区まちづくり協議会の様子(昭和56年12月4日)



(出典)京島まちづくりニュース第4号

第四吾婦小学校図書館で開催され、「まちづくり計画(大枠)」が合意された。

地元説明会の様子(京島二丁目協和町会)



昭和56年11月、関係各町会や地元商店会向けのまちづくり計画の説明会が開催された。

まちづくり宣言板の設置(平成元年3月31日)



(出典)京島まちづくり協議会のあゆみ

京島地区内にまちづくりをPRするため、京島二・三丁目地形をモチーフに「まちづくり宣言版」が京島三丁目第2コミュニティ住宅前に設置された。

商業部会が作成した商店街マップ(平成4年)



(出典)京島まちづくり協議会のあゆみ

商店街のイメージ構成図づくりのたたき台に利用された。

第2回子供まつりの様子(平成4年10月25日)



(出典)京島地区まちづくり協議会の記録(平成4年度)

工業部会の後継者グループ「共栄会」が京島三丁目コミュニティ住宅前で子供まつりが開催された。(ベーゴマ、けん玉、石けり、もちつきなどを実施)

(社)全国市街地再開発協会より「まちづくり功労表彰」を受ける(平成5年5月28日)



住宅地区の環境改善のため、顕著な功績があったと認められ受賞した。

京島製品展・リサイクル展の様子(平成6年1月16日)



京島の工業振興活動の一環として工業部会が実施した。

京島地区まちづくり協議会は 今年設立40周年を迎えます。

今年度のまちづくり便りでは、『京島地区のまちづくりのはじまり』から『協議会』の設立、そしてその間に大きく変化した京島地区のまちづくり事業開始前の原風景を振り返ってきました。

今号では、京島地区まちづくり検討会が発足した昭和55年から現在に至るまでの「京島地区まちづくり協議会のあゆみ」を年表で振り返ります。

昭和56（1981）年 「京島地区まちづくり協議会」発足 （京島まちづくりの始まり）

昭和56年「京島地区まちづくり協議会」が発足。初年度は、地元説明会を開催した後、「まちづくり計画の大枠」に合意した。また、地元根付いた活動を行うため、計画部会・商業部会・工業部会を設置し、それぞれの視点から京島のまちづくりへの取り組みを開始。

平成元（1989）年～ 京島まつりの開催
平成3（1991）年～ 京島文化祭の開催

平成12（2000）年 新部会「女性部会」発足 （多彩なまちづくり活動の進展）

多彩な視点からまちづくりを行うため、新たに女性部会を設置。協議会全体では、京島を紹介したロジコミマップの作成や、共栄会によるオリジナル製品の開発など、地区内外情報等を発信する活動が行われた。

平成15（2003）年～平成17（2005）年
エコロジーマーケット（フリーマーケット）開催

平成28（2016）年 「水活用勉強会」発足 （住民自ら発議するまちづくりへ）

協議会委員より「震災時の火災の猛威から、町、建物、命を守るために自前の水源確保の必要性と、震災前後にも多目的に活用できる水源を確保することでまちの魅力が一層高まる。」との提案により、「水活用勉強会」が発足。

平成29（2017）年
墨田区へ水活用勉強会検討報告書の提出
平成30（2018）年
墨田区へ新たな緑地整備に関する提案書の提出

平成29（2017）年
まちなか緑化事業を開始
平成31（2019）年
避難所運営ゲーム（HUG）を開催

昭和55（1980）年 「京島地区まちづくり検討会」発足

昭和53年度に実施された意向調査をきっかけとして、昭和55年6月、地元・東京都・墨田区の三者による「京島地区まちづくり検討会」が発足。検討会の熱心な討議の結果、まちづくり計画案を提案するに至った。

平成4（1992）年 工業部会の後継者グループ 「共栄会」発足

各専門部会は、活動目標に沿って積極的な活動を実施。また、工業者の次代を担う後継者グループ「共栄会」が発足。

平成3（1991）年～平成13（2001）年
京島子供まつりの開催

平成20（2008）年 組織改編 「地域活動促進部会」発足 （新・京島まちづくりのはじまり）

工業部会、女性部会を統合した地域活動促進部会が新たに設置。京島文化まつりや耐震活動、京島らしさの発信など、テーマをより具体化した専門分科会によって構成され、計画部会、商業部会とともに、京島まちづくりの新たな時代の活動を推進。

平成22（2010）年 ロジコミマップ改訂版の発行

平成24（2012）年 組織改編 「コミュニティ推進委員」発足 （多彩なまちづくり活動の進展）

専門部会や専門分科会を廃止し、7町会や協議会活動の賛同者からコミュニティ推進委員を選出し、協議会全体で協力・連携してまちづくり活動を行っていく体制に変更。

平成24（2012）年
第22回京島文化まつりの開催